



Lions KidSight

子どもの目の健康：実態を知る

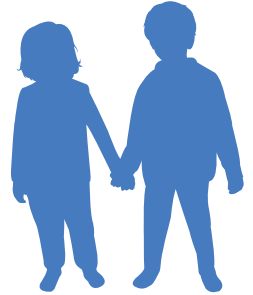
子どもの学習の80%は視力を通じて行われるということが、視力および教育の専門家間で広く認められています(アメリカ検眼協会)。



国際失明予防協会によると、

4億5千万人の子どもたちが

治療を必要とする視力障害を持っています。



世界保健機関によると、推定4億4,800万人の児童と青少年が未矯正の屈折異常(眼鏡が必要な状態)を抱えています。

特に低所得国では、目の見えない**子ども**は視力の良い子どもに比べ、小児期に死亡する可能性が高い(国際失明予防協会)。

世界中の**1~5%**の子どもが、片側(片方の目)弱視を発症するリスク因子を持っている(アメリカ国立衛生研究所)。

子どもの**視力喪失**の発生率は、国内においても、また国や地域間でも大きく異なる(国際失明予防協会)。

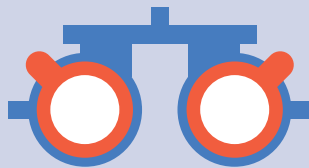
40%

の小児失明は、子どもが眼科医療を受けることができれば予防または管理可能な眼疾患が原因(国際失明予防協会)

世界保健機関によれば、**眼鏡がない**ことが視覚障害の最大の原因



ライオンズ・キッズサイト児童視力検査は、80%の感度と**95%の精度**でリスク因子を検出



ライオンズ・キッズサイト

視力検査は迅速でタッチレス、しかも

無料



Lions International